



平成27年 4月 24日

各位

会社名 株式会社 大真空
 代表者名 代表取締役社長 長谷川 宗平
 (コード番号 6962 東証第1部)
 問合せ先 常務取締役 管理本部長 前田 宏
 TEL: (079)426-3211

特別損失の計上および業績予想の修正ならびに剰余金の配当に関するお知らせ

当社は平成27年3月期決算における特別損失の計上について、下記のとおりお知らせいたします。この特別損失および最近の業績動向などを踏まえ、平成26年11月13日に公表した平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)につきまして、下記のとおり修正いたします。また、平成27年4月24日開催の臨時取締役会において、未定としておりました平成27年3月31日を基準日とする剰余金の配当を見送ることを決議しましたのでお知らせします。

記

1.特別損失の計上について

販売単価の下落や光学デバイスの販売低迷、海外生産工場における人件費上昇などの影響により、当社の業績は厳しい状況が継続しております。このような状況の中、歩留り改善や生産性向上などの原価低減策を推進してまいりましたが、更なるコスト競争力の強化と利益体質への転換を実現するため抜本的な事業構造改革を行います。それに伴い、平成27年3月期連結決算において特別損失(事業構造改革費用3,892百万円、固定資産除却損など515百万円)を計上する見込みです。

なお、平成27年3月期個別決算において関係会社株式評価損など4,576百万円を特別損失に計上する見込みですが、連結上は消去されるため、連結業績への影響はありません。

(参考)平成28年3月期以降の経営目標

上記のとおり、抜本的な事業構造改革を行い、平成28年3月期以降は黒字化と復配を目指します。

	第53期 (平成28年3月期)	第54期 (平成29年3月期)	第55期 (平成30年3月期)
	百万円	百万円	百万円
連結売上高	33,000	34,500	37,000
営業利益	450	1,000	2,000

2.業績予想の修正

1)平成27年3月期 通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	32,000	△ 1,000	△ 600	△ 1,100	△ 26.55
今回発表予想(B)	31,000	△ 2,300	△ 1,200	△ 6,350	△ 155.52
増減額(B-A)	△ 1,000	△ 1,300	△ 600	△ 5,250	
増減率(%)	△ 3.1	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	33,788	785	1,318	810	19.55

2)修正の理由

売上高につきまして、為替レートは下半期の想定レート(109円/ドル)に比べ円安で推移しましたが、計画していた中国のスマートフォン向け製品の販売が伸び悩むなど、前回予想を下回る見込みとなりました。また、利益面につきましても、売上減少の影響や棚卸資産評価損566百万円の売上原価への計上、事業構造改革費用3,892百万円の特別損失への計上、繰延税金資産の取り崩しによる法人税等調整額110百万円の計上などにより、前回予想を下回る見込みとなりましたので、平成27年3月期の連結業績予想数値を上記のとおり修正いたします。

※上記の業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

3.剰余金の配当

1)配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成26年11月13日)	前期実績 (平成26年3月期)
基準日	平成27年3月31日	同左	平成26年3月31日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	5円00銭 (普通配当3円00銭) (記念配当2円00銭)
配当金の総額	-	-	207百万円
効力発生日	-	-	平成26年6月30日
配当原資	-	-	利益剰余金

2)理由

当社の利益配分についての基本方針は、安定配当の継続であります。

平成26年11月13日公表時に未定としておりました平成27年3月期期末配当につきまして、当社の業績や当社を取り巻く経営環境などを総合的に勘案し、誠に遺憾ではありますが見送らせていただきます。

(参考)年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想(平成26年11月13日)		未定	未定
当期実績	2円00銭	0円00銭	2円00銭
前期実績(平成26年3月期)	4円00銭	5円00銭	9円00銭

以上